

1 策定の目的

- 「人口減少の緩和」と「活力ある地域社会の維持」
- まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

2 策定方針

- 戦略全体の成果（「人口減少の緩和」と「活力ある地域社会の維持」）を評価する5つの数値目標を設定
- 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、4つの基本目標を設定
- Society5.0の実現やSDGsの理念も踏まえ、茨城の特性を活かした施策展開の基本方針を設定
- 茨城県総合計画（2018～2021年）から地方創生に関連する施策を整理（併せて、主要指標からKPIを設定）

（参考）第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和元年12月20日閣議決定）」の基本目標と横断的な目標

【基本目標】

- 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
 - 地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
 - 安心して働ける環境の実現
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
 - 地方への移住・定着の推進
 - 地方とのつながりの構築
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備
- 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
 - 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

【横断的な目標】

- 1 多様な人材の活躍を推進する
 - 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
 - 誰もが活躍する地域社会の推進
- 2 新しい時代の流れを力にする
 - 地域における Society 5.0 の推進
 - 地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり